

平成29年度 学校関係者評価の結果報告書

学校評価の取り組みは、5年前より実施してきておりますが、この度の学校関係者評価にご協力いただきました皆様に御礼申し上げます。

教職員にとっての評価の目的は、自身の保育・教育を振り返り、反省したことを次の指導に生かしていくことです。そうした振り返り、反省の材料となるのが、学校関係者の方のご意見であり、評価でもあります。常に、次の保育・教育を見直し、改善を図れるような学校評価となるよう、今後も継続して取り組んでいきたいと思っております。

I 学校関係者による評価

(回収率:70%)

(A:当てはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:当てはまらない)

	評価項目	A	B	C	D
1	子どもさんは、楽しく幼稚園に通っている。	82.6%	17.4%	0%	0%
2	子どもさんは、友達と仲良く遊んでいる。	69.6%	30.4%	0%	0%
3	子どもさんは、園から出された課題を、自分なりの力でやり遂げようとしている。	47.8%	43.5%	8.7%	0%
4	園は、教育方針や園行事などについてわかりやすく伝えている。	34.8%	56.5%	8.7%	0%
5	子ども一人一人が大切にされ、認められる園になっている。	56.5%	43.5%	0%	0%
6	園は、保護者の方の協力や場を生かした保育・教育を行っている。	47.8%	43.5%	8.7%	0%
7	園は、園内の清掃や整理整頓に努め、子ども達が気持ちよく園生活が送れるよう心掛けている。	69.6%	30.4%	0%	0%
8	園は、子ども達の安全に配慮した運営を行っている。	52.2%	43.5%	4.3%	0%

【考察】

Iの「学校関係者の評価」について、いずれの項目もA評価・B評価の合計が合わせて91～100%であったことから、一定の評価を受けていると考え、更にA評価の割合が高まるように努力してまいります。一方で、「園から出された課題を、自分なりの力でやり遂げようとしている」、「教育方針や園行事などについてわかりやすく伝えている」、「保護者の方の協力や場を生かした保育・教育を行っている」「子ども達の安全に配慮した運営を行っている」の評価項目において、C評価が4～9%であったことに対しては、しっかりと受け止めて対処していく必要があると考えています。とりわけ、園の教育方針や園行事について、今後はよりわかりやすく伝えていけるように内容と手段を考慮してまいります。

Ⅱ 別添の「平成29年度 教職員の自己評価集計結果とその考察」についての学校関係者の主な感想・意見等

- ・いつも様々な事柄に真剣に向き合って下さいまして、ありがとうございます。
- ・しっかりと自己評価と考察ができていると思う。どんどん、子どもにとっても保育者にとっても過ごしやすい園を作っていってほしいと思う。
- ・いつも子供たちの成長をあたたく見守ってくださりありがとうございます。認定こども園になってからは、働く保護者が増え、先生方の負担が増えて大変な中、子供たちがのびのびと過ごす姿に日々感謝しております。
- ・先生方の日々の努力に心より感謝いたします。

集計結果の中に C 評価があることは、次年度への課題が見えて悪いことだとは思いませんが、『Ⅱ.保育のあり方、幼児への対応について』の「幼児理解」「指導者との関わり」「保育者同士の協力・連携」項目に C 評価を選ばれた先生の心身のことがとても心配に思えました。

やはり、バス通園の保護者には園での様子、情報が入ってきづらいため、月末に一回の学年通信だけでなく、クラス単位でもう少しクラスの様子や、今どんなことをしているのか等の情報発信をしていただけると有難いと思います。

先生方の「ほう・れん・そう」がよく為されていて素晴らしいなと思いました。

子ども達一人ひとりを本当に大切にいただいているなと感じました。

- ・保育の計画性、保育のあり方・幼児の理解については、行事になると進行やその通りにしなくてはならないと思い、幼児の行動が見えない時もあると思いますが配慮して頂きたい。
- ・保護者への対応について、先生と保護者は友達ではないので、いい意味でいい距離感があった方がいろんな話が出る。園の中では、どれだけ仲良しの保護者の方がみえても、先生でいて欲しい。
- ・Ⅰ.環境の構成で自己評価が低めだが、行事の練習などで時間的なゆとりが少ないのかなと感じた。Ⅲ.保護者の対応について、先生方が連絡ノートに色々書こうとされている気持ちが伝わり、感謝します。預かりの増加で担任の先生との関わりは薄らいでいるのは、どうしようもないのですが、連絡ノートを書いてくださる手間・時間は、先生の負担だと思い、うれしい反面心配でもあります。メールなど何か気軽にコミュニケーションがとれる方法があれば、お互いに有効ですが難しいですね。14 時降園までにノートを書くのではなく、もっと預かってもらってもいいと思います。(特に若い先生は、書く余裕がないと思いますので…)
- ・いつもよくしてもらってありがとうございます。
- ・職員皆さんがそれぞれ努力されて園児ひとりひとりに接して頂いている事が分かった。しかし、教育方針や教育課程の理解、指導計画について A 評価が 0 %なのが残念に思う。日案や週案、月案を立ててみえ、毎日の反省を書くなどされ出来ているように思うが、自信を持って評価されていない。予定通り進めない、一日が慌しい、クラスカラーがある、行事のための保育など、さまざまな理由があるようだが、園としてどのような

教育を目指しているのかをはっきりさせる事が大切に思う。行事という目標が子供の成長になり、行事の場が普通の保育を発表できる場であってほしいと思う。先生方には感謝の気持ちは大きい。

- ・読めば読むほど大変な仕事だなーと思います。毎日、ありがとうございます。発表会、子供より先生の方が気持ちがはりつめていた様子で……
- ・先生方が研修などに参加して日々スキルアップに努めていることに驚きました。子どもを預ける親としてとても安心しました。
- ・自己評価なので、全体的に控えめな印象を受けました。“Ⅰ.保育の計画性”については、毎日違う行動を起こす子供達に対し目標や計画を達成するのは難しいのかなと思いました。“Ⅲ.保護者への対応について”は、A評価・B評価合わせて100%になるのに対し、“Ⅱ.保育のあり方、幼時への対応について”にC評価が少しみられるのは、保護者として残念に感じます。幼児に対しても、A評価・B評価100%になることを期待しています。
- ・いつもお世話になります。僭越ながらご意見申し上げます。行事が非常に充実して親としても楽しいです。特に毎年の生活発表会は我が子やお友達の成長を実感することができ、年長の鼓隊をやりきった子どもの成長ぶりに感動もひとしおでした。個性的な先生方（通常活動、延長ともに）に指導していただき、子どもも感受性豊かに育てていただいたと思います。地域の関わりという点では、例えば鼓隊などが津まつりなど地域性の高いイベントに出演していただくのも良いのではと思う。（清泉や大川などが出演している為）年長になってバス通園となり、先生との関わりが減ってしまい、こども園での様子があまりわかりませんでした。二者懇談で突然友達とのトラブルの話を聞いて驚きました。連絡ノートなどで親としっかりコミュニケーションをとってほしいと思います。
- ・Ⅰ.保育の計画性については、3つの項目においてA評価が0%と謙虚かつ厳しい自己評価をされているように感じましたが、自信をもってAと回答できるよう努めていただきたいと思います。Ⅱ.保育のあり方、幼時への対応については、保護者同士の協力・連携、特に“クラスに関係なく～”のA評価の割合が高く、実際に同学年の他クラスの担任はもとより、他学年の先生も目を配り、声を掛けてくださるので、園全体で保育して頂いているのを感じ、安心できます。また、参考資料から、子どもと同じ目線で関わることを大切にされている先生がたくさんおられることがわかり嬉しく思いました。けれども、Ⅲ.保護者への対応については、送迎時に子どもの園での様子や小さな成長を話すよう心掛けてくださっている先生もみえますが、我が子の担任は毎日のようにお会いしているにもかかわらず、こちらからお尋ねしないとなかなか子どもの様子を聞かせて頂けず残念に思っています。
- ・教職員のみなさんが、子供達の事を考え、意見していただき仕事をしていただいている事にとっても有難く思いました。バス通園をしています。しっかりと返事を書いていたたり、普段の様子も丁寧に教えていただいています。藤幼稚園の先生方は、とてもしっかり教育をしてくれていると思います。ベテランの先生の素晴らしい所を若い先

生に引き継いでいって欲しいと思います。

- ・認定こども園になり、園児の人数も増えて今までやってこれた行事が難しくなっていく中で先生方はとても頑張っていると思います。
- ・現場の先生方のご苦勞がより理解できる内容でした。
- ・先生方の努力や頑張りはとても感心しています。しかし、職員がもっといれば先生方の指導も余裕があるものになるであろう事を思うと、その点が残念です。もっと、いろいろな年代の職員の方が入る事を願います。(特に男性職員)

社会との関わりについて、近所に多くの施設があり、その施設の交流会等があれば、これまでの成果を発表する場が増えてよいのではないかと思います。まずは、保育園へ合奏や合唱のお披露目等の交流等をとと思います。

あと、えほんのおなおし隊の様なボランティアにもっともっと参加しても良いと思っています。保護者との関わりの増える機会になるのではないのでしょうか？(預かり保育のお手伝いや工作の準備お手伝い等)あくまでもボランティアとして…。歌が上手な先生、ピアノが上手な先生、ダンスが上手な先生等その先生の特技を発表し生かせるのもっと楽しい幼稚園になると思います。もっともっと先生の得意科目を生かしてほしい。

Ⅲ その他、本園の教育についての学校関係者の主な意見等

- ・英語にふれあう時間を(短くてよいので5～10分)毎日持てると「藤」としての特長が更に上がるのでは？と思います。今のままでは、少ないような…月に1・2回では、もったいない気がします。朝のあいさつやおかえりの時間に少しはさむとか？少しでも良いので、耳にふれる機会を増やして頂けると嬉しいです。
- ・今年は、発表会が平日になりました。そんな時は、発表会開始時間を午前9時からしてもらいたいなど欲しかったです。ほとんどの人が小学生に上の子がいると思います。帰ってくる時間に発表会が終わっていないのは少し残念です。
- ・こけてか、よく血をつけたまま帰ってくる人が多い。(キリ傷、すり傷など小さい怪我)流水で流すか、血を拭き取ることを声掛けしてもらいたい。
- ・年中、年長児さん達の「進級式」はこれからも続けていけますか。認定こども園になり、働く母親が増えていく中、やはり単独の保育園に比べると保護者が園に出向く行事等が多いように思います。貴重な時間を過ごさせて頂けることには間違いありませんが、園の方向性としてはどうなのかな？と少し思ったので書かせて頂きました。
- ・子どもたちの笑顔のため、毎日ありがとうございます。うちは、ピンクバスを利用させていただいておりますが、近年、寒波など気候が変わっています。チェーンではなく、スタッドレスタイヤをはいていただくと安心です。ノーマルタイヤは不安です。
- ・こども園になり、長く預かって頂ける安心はとても大きく働く親にはとても嬉しい。その反面、幼稚園としてのお勉強(今まで英語や体育、色々な体験など)を行って学ぶことのできる場の特徴をもっと力を入れて頂きたい。教育方針を変更することはとても重要なことです。まず教育者が内容をよく理解して園全体が一体になって取り組める体制作りが出来ているのでしょうか？入園が決定している方への説明や具体的内容の説

明はあるのですか。

- ・教育ではありませんが、全体的に連絡等が遅いと感じます。
- ・預かり保育の先生に伝言を（担任の先生へ）お願いしたことが伝わっていなかったことが何回かありました。預かり保育へ移動すると、担任の先生は全く関わりがないのか、話したいことをどちらの先生に話したらいいのか戸惑うことがよくあった。
- ・幼稚園に通うようになり、心も体も成長したと思います。これからもよろしく願います。
- ・認定こども園への移行に際し、様々な御苦勞があったと存じます。藤幼稚園が培われた「藤独自」の良さを失うことなく今後も地域の幼児教育の拠点としてあり続けて頂きたいと思います。共働き家庭の一般化や親の価値観・ニーズの多様化など、子育てを巡る課題は山積していますが、藤認定こども園の今度の益々の発展をお祈りしております。娘がお世話になり、ありがとうございました。
- ・園行事のお便りに誤りがあったり、わかりにくい表現があったりして困ります。毎年恒例の行事でも、お便りはその都度見直し、加筆・修正していただきたいです。
- ・長袖の体操服を採用していただきたいです。薄着奨励で丈夫な身体づくりをとのお考えもわかりますが、小学校の普通教室にはまだ冷暖房が完備されていませんし、気候や体調に合わせて衣服を選択し、寒暖を衣服で調整できるようになることも体得すべきではないでしょうか。
- ・生活発表会の座席について年長を最前列にご配慮いただき有り難いのですが、舞台が近すぎてとても見にくく、隊列によっては全く子どもが見えません。後方4～5列ではなく、前方を4～5列空けて全体的に後方へずらしていただきたいです。また、サイド席は園児席となっていました。園児が客席に戻ることはないようですので、サイド席を自由席にしてはどうでしょうか。楽屋にも加湿器を持ち込み、子ども達の健康に配慮していただいてありがとうございました。
- ・小学校との連携において、説明会時の特別保育などの協力があってほしい。
- ・連絡ノートは、バス通園やお迎え関係なく一日の様子や気になる事を書くのに、もっと活用してもいいのではないかと。
- ・「藤幼稚園」時代の教育方針に惹かれ、藤幼稚園を選び登園させています。行事のための保育になっていると記載はありましたが、運動会や発表会に向けて一生懸命練習をしてやり遂げる、時には厳しく…小学校へ入学する前の年長さんにとっても大事なことだと思います。そして、先生方は必ず行事後にとってもほめてくださいます。その子供達は自信をつけていくと思います。認定こども園になっても変わらぬ教育方針でいていただきたいと思います。
- ・こども園になったからといって変化ばかり求めるのではなく、現場の先生方の意見もきちんと聞き入れたうえで決定としてほしい。
- ・園庭の池をもっと整備して、生物観察や水遊び（これは無理か??）等ができるとうれしいのではないかと思います。又、遊び方も年長、年中、年少が入り交ざって遊べるものを取り入れられると視点が変わりよいのではと考えます。環境面で一言、真冬に帰りを待つ

園児が冷たい床に座っているのは大変ではないかと思います。又、園リハーサルでも衣装一枚で廊下に待っている時間があったり。ひさしに透明なカーテンでもつけて風が直接あたらない様な工夫とか、床が暖かい状態になるようマットを敷く等の工夫があればと思います。インフルエンザ等の流行の中、寒さに身をさらしては体調を崩すのは必須だと思います。ご配慮いただければと思います。

- 先日の園児送迎時の車両の走行について…ですが、私は毎日送迎ですので同じ事を感じておりました。T字路の安全確認以前にウィンカーを出さず右折する車がとても多いです。そして、プリントの★印でもウィンカーを出さず右折する車も多く見ます。見ている人がいないとウィンカーを出せないことは恥ずかしい事ですが、もうしばらくの間、園長先生に立って頂けるのは良い事だと思います。